

処此処に屯していた。さて私はホテルに戻って早速キノコのスケッチをした。外形は次の如くであった。

Psilocybe Aztecorum 傘は小型、半球状、全開せず、径 1-1.5 cm、上面はほとんど粘性無く、乾くと僅かに光沢を帯ぶ、淡褐色、縁辺次第に淡く藍色を帯ぶ。柄は細長、長さ 6.5-8 cm、上下同径、まばらに淡藍色の汚染を生ずる。褶は淡紫褐色、縁辺は白色、シスチジア密生する。

Summary

During the returning trip from the IMC² held in Tampa, Florida, I had a chance to visit Mt. Popocatepetl in September, 1977, by the courtesy of Dr. G. Guzman. This volcano (5452 m) is situated in south-eastern part of Mexico. Several ten species of mushroom, several species of Sphaeriales and water moulds were collected there. Drs. G. Guzman, S. Udagawa and K. Konno co-operated for the identification of fungi.

○シロバナデイゴ (大橋広好) Hiroyoshi OHASHI: The Japanese name of *Erythrina variegata* f. *alba*

石垣島地方気象台の宮良孫好氏から 沖縄県文化財保護委員多和田真淳氏の指示で白花のデイゴの標本とそのカラー写真を送っていただいた。石垣島に本来自生のものでなく、5年前にハワイ産の種子を那覇市内で播き、その苗木を石垣市に移植したものであるという。現在同市登野城の与儀守吉氏宅で栽培されている。日本では白花のデイゴの記録は初めてであると思われるので、多和田氏の命名による和名シロバナデイゴを発表しておきたい。標本と写真は東京大学理学部標本室 (TI) に保存しておく。

シロバナデイゴには品種名として f. *alba* (Blatt. & Mill.) Maheshwari があるが、これはデイゴの学名 *E. variegata* L. var. *orientalis* (L.) Merr. のもとで発表されたものである。最近 Krukoff (1972) は Journ. Arnold Arb. 53: 132-136 でデイゴを *E. variegata* L. にあて、新たにムニンデイゴ *E. boninensis* Tuyama や *E. variegata* var. *orientalis* もシノニムに加えている。また白花品も区別していない。デイゴとムニンデイゴを同一種とする見解には私も賛成であるが、白花品は一形として区別してよいと考える。宮良・多和田両氏にお礼申しあげる。

(東京大学理学部付属植物園)